

惜しまれて、旅立つ



今年のお正月、東京から義父母が来訪しておりました。
写真は帰る日、これから長崎空港に向かう1時間前に行った
“父娘”漢方相談です。

義父は81才。
娘（長女）宅が居心地良いようで、今回も（老体にムチ打ち）
はるばる、やってまいりました。

「おとうさん、遺言書、もう書きました？」

「いえ、まだ・・・」

「では、ここで伺います、どういう死に方をしたいですか？」

遺言もいろいろあります。

卑近な例では、貯金、財産をどうするか？ 相続の問題です。

これも遺族の間でトラブルが起きないように、生前、元気なうちからきちんと遺言を残すべきことですが、(そのスジの方に伺ったところ、スズメの涙ほどの財産での争いが一番多いそうです・・・)

義父の遺言、私がただ一つ聞きたいことは

「**どういう死に方をしたいか？**」

なぜなら、死ぬ瞬間、死んだ後、後悔してほしくないからです。

“**終わりよければ、すべて良し!**”の格言どおりで

「**苦難の多い人生だったけれど、でも最後は良かったなあ～～**」

この心境で親には旅立ってほしいものです。

そう、**臨終の時こそ、『プラス思考』が大切!**

「**xもあったけれど、もたくさんあった人生だったなあ～**」

この思考で旅立ちましょう! 天国・極楽行のキップ、保証します(笑)

「**もあったけれど、xの多い人生で、これで終わりって虚しいよ・・・**」

『**マイナス思考**』で旅立つと、キップ、もらえないかも(苦笑)

義父は、苦勞の多い人生でした。

6人きょうだいの5番目。5才の時に父親を肺結核で亡くし、以来、母子家庭。小学3年生から新聞配達をして、家計を助けます。

そして10才の時、兄が病死。

その時、母親からひどいことを言われました・・・(ここで書けないくらいの)

大学も自前で卒業。しかし第一志望の会社には「片親」ということで落とされ20代までは絶望の人生だったと思われま

30で結婚、家族のために一生懸命働いて、3人の子どもを大学まで出してやっと一息つけたのは定年後。それから太極拳や社交ダンスに興じたけれど次第に頭と身体の老化には勝てず、気づけば傘寿を迎えていた・・・

生きていくこと、食べていくことに追われ、高度経済成長の中、ただただがむしゃらに働いてきた。

自分の「生き方」を考える時間なんて無かった人が、自分の「死に方」なんて考える時間など当然ありませんでした。

義父は私の質問に、こう答えました。

「惜しまれて死んでいきたいです」

義父の望む「死に方」は、家族に惜しまれて旅立つことでした。

「では、惜しまれるためには、どう生きれば良いと思いますか？」尋ねると

「出しゃばらないこと、ガマンですね」

「違いますよ！」 私は語気を荒げました。

「おとうさん、相手に気を使っているつもりでもね、ガマンは相手には伝わらないんですよ。思ったことを言わないことは、相手を尊重しているようだけど、それは“自我”というやつ。すれ違いが生じて誤解の元ですよ」

義父は今、次女家族と同居しています。

娘夫婦や孫たちとの生活は賑やかな反面、それは自分の居場所や自由がなくなることであっても、義父なりにストレスを抱えていました。

「改めて伺いますね。惜しまれて死ぬために、どうすれば良いと思いますか？」

「・・・(沈黙)」

「それはね、家族が喜ぶことをすることですよ！」



「出しゃばらずにガマンするという受け身ではなく、相手を喜ばせようとする主体的行動です。家族には感謝とねぎらいの言葉をかける。孫たちには笑顔でお小遣いをふるまう。物欲の無い今こそ、お金をどんどん手放しましょう！そして身体が老いて弱っても、“してもらう”ではなく“してあげる人生”を意識しましょうね！心まで老化させてはいけませんよ。そうすれば、お望みどおり、みんなに惜しまれながら旅立てます」

人が死んだ後に残るものは、
どれくらい財産があったとか、どんな地位にあったのかではなく

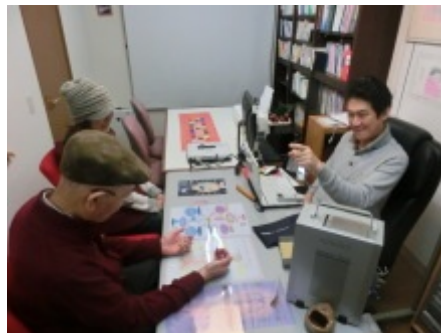
「どれくらい相手に思いやりを持てたか？」

“良き思い出”だけを、相手の心に残して旅立ちたいものです。

太田東西ブログ ほぼ毎日ネットで更新中！

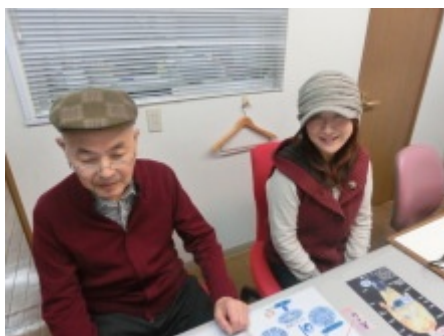
義父との対決！！ 2014.1.10

「確か、あなたは当初、2人の結婚、反対でしたよね！」



「あっ、いや、その・・・」

「なんなら、お嬢さん、今すぐ熨斗紙つけてお返ししましょうか？」



「いや、そんな・・・」

あ～～～スッキリした！！

言いたいことは、はっきり言わなきゃね！

さてと、反省したみたいだし

大好物のアイスでも食べさせようかな



こらっ、じいさん！

やさしい婿の恩を忘れて、

まだ結婚、反対かい！！

ヽ(´ `)ノ

